

下水道関係の被災及び応急復旧状況と取組み状況

水管理・国土保全局
下水道部
平成23年7月25日
10時00分現在

下水道施設の被害及び応急復旧状況

- 岩手県、宮城県及び福島県の沿岸部にある下水処理場16箇所が、主に津波による機械電気設備の損壊等により稼働停止。これら処理場のうち、汚水流入のある13箇所では、**仮設の沈殿池を設置して、その上澄みを消毒処理する簡易処理等により**応急対応を実施中。
- 管渠については、**129市町村等の下水管64,730kmのうち、550kmで被災**(テレビカメラ調査ベース)。破損箇所については、仮配管や仮設ポンプ設置等による応急対応を実施しつつ、**順次本復旧を行っている**。

下水道部等の取組み

① 支援体制の構築

・本省下水道部内に下水道支援調整チーム、東北地方整備局建政部、関東地方整備局建政部内に下水道現地支援本部を設置し、復旧支援に係る総合調整、被害状況の把握・とりまとめ、復旧方策についての助言等を実施

② 要員の派遣

- ・3/12に先遣隊(国交省・東京都・日本下水道事業団)を派遣し、被害状況を調査
- ・青森県・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・埼玉県・仙台市・千葉県(浦安市、香取市)に対して、被災状況の調査等の支援のため、都道府県・政令市・一般市・日本下水道事業団・下水道新技術推進機構・日本下水道協会・国土技術政策総合研究所・土木研究所より要員を派遣(延べ6,575人)

③ 日本下水道事業団の取組み

・下水処理場が停止・損傷している箇所において、関係機関と連携しつつ、簡易処理等による緊急対応や復旧計画策定について支援中

凡例

〈稼働停止している下水処理場〉

■ 応急対応中(13箇所)

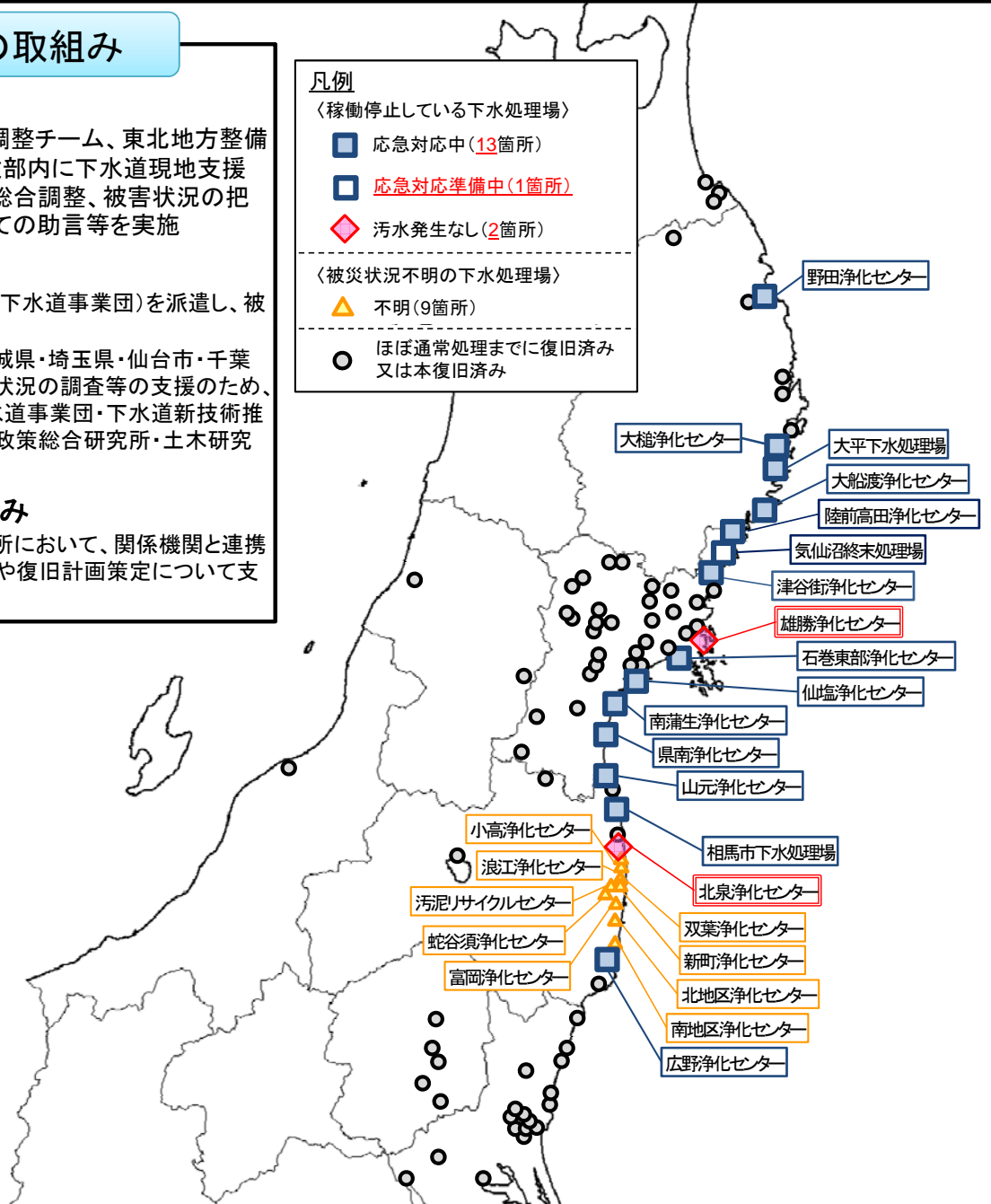
□ 応急対応準備中(1箇所)

◆ 汚水発生なし(2箇所)

〈被災状況不明の下水処理場〉

▲ 不明(9箇所)

○ ほぼ通常処理までに復旧済み
又は本復旧済み



津波により浸水する下水処理場
(仙台市 南蒲生浄化センター)



膜処理ユニットによる処理場と別位置での応急対応状況(陸前高田市)



ほぼ通常の処理ができるまで復旧した処理場
左:処理槽の外観 右:曝気状況(福島県 新地町)



液状化により隆起したマンホール
(千葉県 浦安市)



仮設配管による応急復旧状況
(千葉県 習志野市)